

事務事業評価シート

事務事業コード	022300	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	街なか居住推進事業		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		60人	0人	運営方法	直営
	中心市街地における歩行者・自転車通行量		14,498人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なか居住推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-35-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地への居住希望者、空き家・低未利用地の有効利用を希望する所有者など
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地の空き家や低未利用地などの既存ストックの利活用の促進と転入施策の強化により、新規居住者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	住宅供給に関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、新規居住者に対する支援などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①空き家改修支援 ②情報発信 ③総合相談窓口の設置、運営	①空き家改修支援 ②情報発信 ③総合相談窓口の設置、運営 ④地域おこし協力隊による居住促進事業実施	①空き家改修支援 ②情報発信 ③総合相談窓口の設置、運営 ④地域おこし協力隊による居住促進事業実施 ⑤地域と連携した既存ストック活用検討	①空き家改修支援 ②情報発信 ③総合相談窓口の設置、運営 ④地域おこし協力隊による居住促進事業実施	①空き家改修支援 ②情報発信 ③総合相談窓口の設置、運営	
	年度別実績	①空き家改修支援 ②情報発信 ③総合相談窓口の設置、運営					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,102	0	0	0	0	
	直接経費 A	6,102	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,030	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,072	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	[KPI]中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	1	1	1	1	0
		実績		60	0	0	0	0	
	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数平均をプラスとする)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P191（都O14）</p> <p>【事業の概要】 第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、「街なか居住の推進」を基本方針とし、既存ストックの利活用の促進と転入施策の強化により、新規居住者の増加をめざしている。 住宅供給に関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、新規居住者に対する支援などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 ○住まいに関する総合相談窓口の設置 ・住まいの情報ネットワークの運営 ○居住者による街なか暮らしの情報発信 ○街なか居住推進のための公的支援 ・街なか居住推進アドバイザー派遣 2件 ・鳥取市街なか住宅取得事業利子補給金 6件 ・鳥取市街なか空き家改修支援事業補助金 2件</p> <p>【今後の課題・方向性】 居住人口は横ばいで推移しているものの、エリアによっては人口減少が著しい。また、少子高齢化が全市域に比べ進展している。これらを踏まえ、これまでの各制度の評価を行うとともに、より効果的な施策内容を検討したい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	(KPI)中心市街地居住人口(社会増減数)	6000%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、街なか居住の推進を柱の一つとしている。中でも情報発信は重要なところであり、住まいの総合相談窓口(住もう鳥取ネット)のほか、平成28年度には居住モニターを設置し街なか暮らしの体験を情報発信していただいた。また、支援策は街なか居住の動機を促すものとして必要ではあるが、効果的な施策がなく他都市の事例など引き続き有効策の検討を行っていきたい。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	022400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	3203	中心市街地の活性化			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		60人	0人	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地における歩行者・自転車通行量		14,498人	18,400人	運営方法	直営
	中心市街地新規開業数		21店舗	100店舗	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費		予算事業コード	01-02-01-07-56-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	現本庁舎及び第二庁舎跡地
意図 (どのような状態 にするために)	計画的かつ効果的に跡地の有効活用策を検討するため
手段 (どうするのか)	過去の検討経過の中で示された活用における視点も参考とし、現在の周辺状況等の動向を踏まえて、有識者等で構成する検討委員会の設置や関係団体からの意見聴取をはじめ、市民アンケートなどを実施し、新庁舎の整備スケジュールや各種関連計画等との整合を図りつつ、平成30年度中に「現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想」、平成31年度中に「現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画」を取りまとめることとする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①庁内調整会議の開催 ②外部検討委員会の設置及び開催 ③市民アンケート調査の実施	①庁内調整会議の開催 ②外部検討委員会の設置及び開催 ③市民アンケート調査の実施	①庁内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催 ③「現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想」策定	①庁内調整会議の開催 ②「現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画」策定	
事業費	年度別実績	①庁内調整会議の開催 (第4回:12月開催)				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0
	直接経費 A	0	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想策定進捗率	%	目標	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討において見込む平成30年度での「基本構想」策定完了率							
2	現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画策定進捗率	%	目標	0	0	0	100	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討において見込む平成31年度での「基本計画」策定完了率							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P192（都O15） 2月補正・</p> <p>【事業の概要】 市役所本庁舎の新築移転後の現本庁舎等跡地について、市民意見等を踏まえ有効活用方策を検討する。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度より現本庁舎等跡地活用庁内調整会議を設置し開催している。</p> <p>【今後の課題・方向性】 第10次総合計画、都市マスタープラン、中心市街地活性化基本計画等の上位計画や市民意見を踏まえ、有効な活用方策を検討する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想策定進捗率					
	2	現本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画策定進捗率					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	鳥取県立美術館建設候補地となっており、最終的な結果が得られるまで別途の活用方策検討を行なえなかったもの。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	鳥取県立美術館建設候補地となっており、最終的な結果が得られるまで別途の活用方策検討を行なえなかったもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>跡地活用の検討については、平成27年度に庁内調整会議を設置し内部での検討を継続的に行っている。また外部検討委員会の設置等については、内部検討を踏まえうえて適切な時期に実施することとしている。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	022500	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	中心市街地活性化助成事業		所属名	都市整備部	中心市街地整備課	

1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3203	中心市街地の活性化			
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		60人	0人	運営方法	補助金交付
	中心市街地における歩行者・自転車通行量		14,498人	18,400人	会計区分	一般会計
	中心市街地新規開業数		21店舗	100店舗		
予算	予算事業名	中心市街地活性化助成事業費			予算事業コード	01-06-01-02-26-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で開催されるイベント
意図 (どのような状態 にするために)	集客を増やし、活力や賑わいの回復による中心市街地の再生を図る。
手段 (どうするか)	中心市街地内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①イベント実施者へ補助	平成29年度 ①イベント実施者へ補助	平成30年度 ①イベント実施者へ補助	平成31年度 ①イベント実施者へ補助	平成32年度 ①イベント実施者へ補助
	年度別実績	①イベント実施者へ補助(16件)				
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	5,259	0	0	0	0
	直接経費 A	5,259	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	5,259	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400	
				実績	14498	0	0	0	0	
		(指標の説明) 中心市街地主要10地点の(平日)歩行者・自転車通行量。基準値は平成26年度実績。								
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400	
				実績	10637	0	0	0	0	
		(指標の説明) 中心市街地主要10地点の(休日)歩行者・自転車通行量。基準値は平成26年度実績。								
	3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278
	【10次総の施策体系】 3203
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P193（都O17）
	【事業の概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客による賑わい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成をめざす。
	【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。

	補助件数	参加者数	新規主催者数
平成26年度	14件	15,512人	4件
平成27年度	16件	20,596人	11件
平成28年度	16件	29,321人	5件

【今後の課題・方向性】 公募提案型イベントへ補助することで、まちづくりを担う人材育成や交流の拡充につながっている。新規や発展性のあるイベントへの支援とともに、自立促進支援も併せて実施する必要がある。
--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	82%				
	2	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	60%	60%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	指標としている通行量については調査日の天候やイベントの有無に影響されやすいため、指標を下回ったものと考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>ふるさと鳥取桜まつりなどの大型イベントの開催や木のまつりとの同時開催などで昨年度より大幅な集客増につながっている。普段街なかに訪れない方にも中心市街地への関心喚起が図られていると思われ、今後も支援が固定化せず、また賑わい創出にも発展性のあるものについての支援を考えていきたい。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	022600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	暮らし・にぎわい再生事業		所属名	都市整備部 中心市街地整備課	

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3203	中心市街地の活性化			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		60人	0人	運営方法	補助金交付
	中心市街地における歩行者・自転車通行量		14,498人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	暮らし・にぎわい再生事業費		予算事業コード	01-06-01-02-26-17	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	事業者(鳥取赤十字病院)
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地の居住者を含めた市民が暮らしやすい、安全安心な環境づくりを推進するとともに、中心市街地の居住促進を図る。
手段 (どうするのか)	建替え整備に対して支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①建築物除却費に対する支援	平成29年度 ①新築に対する支援	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①建築物除却費に対する支援					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	63,930	0	0	0	0	
	直接経費 A	63,930	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	25,753	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	38,177	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	1	1	1	1	1	
			実績	60	0	0	0	0		
	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数平均をプラスとする)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278
	【10次総の施策体系】 3203
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P193（都018）
	【事業の概要】 県東部の中核病院である鳥取赤十字病院は、中心市街地に立地し、総合的な医療サービスを提供することで、長年にわたり地域での安全安心な生活の確保に寄与している。 当該病院では、施設の狭隘・老朽化により建て替え計画が策定され、救急告示病院、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域医療に貢献するとして、平成24年11月28日に本市に対して財政支援の要望書が提出された。 中心市街地の居住者を含めた市民が暮らしやすい、安全安心な環境づくりを推進するとともに、中心市街地の居住促進を図るため、当該病院の建て替え事業に対し支援を行う。
	【事業の成果】 平成28年度は、建築物除却費の一部に対して支援を行なった。
【今後の課題・方向性】 平成29年度は新築費に対して支援を行うこととしており、完了まで引き続き事業を推進していく。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】中心市街地居住人口(社会増減数)	6000%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成27年度と平成28年度は建物除却費、平成29年度は新築費に対して支援を行うこととしている。市民が暮らしやすい、安全安心な環境づくりを推進し居住促進を図る事業であり、完了まで引き続き事業を推進していく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	022700	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3203	中心市街地の活性化			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		60人	0人	運営方法	外部委託
	中心市街地における歩行者・自転車通行量		14,498人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅前太平線沿道の商店街等
意図 (どのような状態 にするために)	官民共同により人が集まる魅力的な空間に変え、中心市街地再生のシンボルスクエアとする。
手段 (どうするのか)	太平線で開催するイベントを支援することにより、太平線への来街者呼び込み、駅周辺の活性化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	
	年度別実績	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,181	0	0	0	0	
	直接経費 A	9,181	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,181	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400
				実績	14498	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
2	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行料(休日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400	
			実績	10637	0	0	0	0	
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計。基準値は平成26年度実績。								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P194（都O19）</p> <p>【事業の概要】 太平線再生プロジェクトの事業効果を最大限に発揮させるため、賑わい創出に係る委託事業や太平線で開催されるイベントに特化した補助制度を創設することで、太平線への来街者呼び込み、駅周辺の活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、太平線の賑わい創出、集客力の向上に資するイベントを実施したことで、約62,000人の来街者を呼び込むことができた。 イベントが開催されない平日歩行者通行量も回復傾向である。（駅前商店街（平日）通行量：H24年度19,495人、H26年度24,237人、H28年度20,034人）</p> <p>【今後の課題・方向性】 イベントにより集客した来街者の街なか回遊の喚起と、定期型イベント等での活用による集客・来街頻度の向上をめざす。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	82%				
	2	【KPI】中心市街地における歩行者・自転車の通行料(休日)	60%	60%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>指標としている通行量については調査日の天候やイベントの有無に影響されやすいため、指標を下回ったものと考えられる。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>平成28年度は新たな企画により、昨年度を上回る62,000人の来街者を呼び込んだ。賑わい創出が徐々に定着してきており、今後も商店街や他のプロジェクト等駅周辺との連携を強化し、様々なアイデアを出し合う中、商店街の振興や日常的な賑わい創出につながる活用に継続的に取り組んでいきたい。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	022800	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	遊休不動産利活用推進事業		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成26年度 ~ 全期	
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	3203	中心市街地の活性化			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		60人	0人	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地における歩行者・自転車通行量		14,498人	18,400人	運営方法	直営
	中心市街地新規開業数		21店舗	100店舗	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	遊休不動産利活用推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-52-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	一般市民を対象
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地活性化のために、空き家・空き店舗など遊休不動産の利活用を通じて、市の課題を官民協働で解決しながらまちの魅力を高める。
手段 (どうするのか)	中心市街地に存在する遊休不動産とそれを利活用する事業者の掘り起こし、民間まちづくり会社や地域住民と連携したマッチング等を行い、エリアに適する事業を成立・持続させる。また、一定のエリアで集中した事業化を行うことでエリア周辺の通行量、所得、居住人口、景観を改善し、エリア価値(地価)の向上につなげる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①リノベーションまちづくり構想の策定 ②リノベーションまちづくり講演会、リノベーションスクールの開催	①リノベーションスクールの開催 ②リノベーションまちづくり会議の開催 ③地域住民との連携体制の構築 ④遊休不動産調査	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし ③遊休不動産調査 ④リノベーションまちづくりに関する融資制度の検討	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし ③遊休不動産活用	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし ③民間まちづくり会社立ち上げ	
	年度別実績	①リノベーションまちづくり構想を策定した。 ②講演会、リノベーションスクールを開催した。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】遊休不動産の利活用件数(累計)	件	目標	3	6	9	12	15	
				実績	2	0	0	0	0	
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。利活用件数について5か年累計15件以上。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 平成27年度1月臨時補正(平成28年度繰越)</p> <p>【事業の概要】 増えつつある空き家、空き店舗などの遊休不動産を用途や機能を変更し、付加価値をつけるリノベーション手法により再生し、産業と雇用を生み出し、建物単体だけでなくまちのエリア価値を高める「リノベーションまちづくり」の取り組みを進めている。 「リノベーションスクール」の開催を通じて、まちづくりに取り組む「技術者」、「担い手」の育成と「不動産所有者」へのストック活用の啓発により、民間主導によるまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 ・リノベーションシンポジウム、講演会、スクールを初開催(延べ参加者約1400名) 平成27年度 ・スクール対象物件1件、関連物件2件実事業化 ・民間まちづくり会社1社設立(鳥取家守舎LLC) 平成28年度 ・スクール対象物件2件実事業化 ・民間まちづくり会社1社設立(一般社団法人まるにわ) ・「鳥取市リノベーションまちづくり構想」策定</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市リノベーションまちづくり構想に基づき、先行エリアで地域住民、大学、民間まちづくり会社と連携した、遊休不動産の掘り起こしと事業化を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	(KPI)遊休不動産の利活用件数(累計)	67%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	鳥取市リノベーションまちづくり構想策定、2件実事業化、1社設立とリノベーションまちづくりは着実に進捗していると言える。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	評価指標は下回ったが、本事業の実事業化は民間主導かつ主に民間調達資金にて成立・持続させるものであり、その上で2件の実事業化と1社の民間まちづくり会社の設立がなされた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本市はリノベーションまちづくりを推進しており、平成29年3月末にその指針となる「鳥取市リノベーションまちづくり構想」を策定した。今後は構想に基づき、スクールの開催やリノベーションまちづくり会議を通じて、複数の事業を連鎖的に展開し、面的な効果(エリア価値の向上)を生み出していくこととしている。</p>	